



京都大学

設置期間 2017年7月1日～2020年6月30日

寄附者 公益社団法人 日本港湾協会/一般財団法人 港湾空港総合技術センター/一般財団法人 沿岸技術研究センター

 「グローバルロジスティクスに対応した
 港湾の競争戦略とリスクマネジメントに関する研究」


教員紹介



山田忠史 教授

専門分野
 ロジスティクス、交通計画
担当科目

Transportation and Logistics Management、プロジェクト・オペレーションマネジメントワークショップ/International Project Management Workshop

Message

貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



小林潔司 特任教授

専門分野
 計画・マネジメント論
Message

高度情報化・知識集約型社会における公共政策の策定・運用・管理のあり方について、経済学的・工学的知識に基づいて考えていきましょう。政策的評価やゲーム理論の考え方や手法について、実際のケーススタディを例にとりあげながら研究を進めていきます。



渡部富博 特定教授

専門分野
 港湾物流、港湾計画、ロジスティクス
担当科目

グローバルロジスティクスと海運・貿易

Message

経済のグローバル化の進展、超大型コンテナ船の就航増など、国際物流を取り巻く輸送環境が大きく変化するなか、多くのステークホルダーが関わる港湾物流をさらに効率的、戦略的に進めるための研究を、様々な角度から検討していきます。



小川雅史 特定准教授

専門分野
 港湾物流、インセンティブ設計
担当科目

グローバルロジスティクスと海運・貿易

Message

グローバルロジスティクスを形成する多様な主体のインセンティブを考慮しつつ、港湾の競争戦略とリスクマネジメントの高度化に向けた政策立案に資する研究を、理論と実際のバランスを意識しながら取り組んでいきたいと思っています。



小野憲司 客員教授

専門分野
 災害時物流、事業継続マネジメント
 港湾物流システム
Message

地域社会と災害のレジリエンシーは、災害時の人的被害を最小化するとともに、災害後のいち早い経済の復興を可能とする物流がその一端を担っています。平時からそのような物流システムの構築に向けた科学的アプローチに貢献したいと考えています。



宮田正史 客員教授

専門分野
 港湾工学、信頼性設計、技術基準
Message

東南アジア・アフリカ諸国などの発展途上国の国際物流を支える港湾インフラの計画・整備に対して、日本で蓄積された技術や基準類を利用しつつ、先方国と日本の両者にとって相互に有益となる技術協力のあり方について研究を進めたいと考えています。



赤倉康寛 客員教授

専門分野
 国際物流、港湾計画、災害リスク
Message

高度に発展したグローバル・サプライチェーンにおいて、コンテナ船の大型化、アライアンスの寡占化、保護貿易主義の台頭等を踏まえた、我が国産業にとってより好ましいコンテナ物流システムの実現に研究面から寄与していきたいと考えています。



河合美宏 特命教授

専門分野
 国際マネジメント、金融、公共政策
 グローバルリーダーシップ
Message

民間企業、日本政府、外国政府、国際機関の経験、特に金融関係の国際機関のスタートアップから事務局長として経営に携わってきた20年の実務経験から培った知識、知見に基づく研究等を通じ、世界で活躍を目指す学生、受講者の助けになりたい。